

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 王子ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3861 URL <https://www.ojiholdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯野 裕之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務グループ経営委員コーポレートガバナンス本部長 (氏名) 長谷部 明夫 TEL 03-3563-1111  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	837,502	18.2	40,395	△36.6	60,232	△12.5	37,927	△16.8
2022年3月期第2四半期	708,529	8.6	63,681	117.3	68,835	211.5	45,582	343.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 109,971百万円( 50.8%) 2022年3月期第2四半期 72,934百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	38.28	38.26
2022年3月期第2四半期	46.02	46.00

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	2,277,412	978,315	41.8	960.90
2022年3月期	2,053,752	875,470	41.4	859.29

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 952,418百万円 2022年3月期 851,232百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2023年3月期	—	8.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800,000	22.4	105,000	△12.6	110,000	△18.6	70,000	△20.0	70.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	1,014,381,817株	2022年3月期	1,014,381,817株
2023年3月期2Q	23,203,508株	2022年3月期	23,764,570株
2023年3月期2Q	990,795,483株	2022年3月期2Q	990,430,547株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 連結決算の概要 .....	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(四半期連結損益計算書)	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(四半期連結包括利益計算書)	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

(当四半期連結累計期間の経営成績)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	億円	億円	億円	億円	円 銭
2023年3月期 第2四半期	8,375	404	602	379	38.28
2022年3月期 第2四半期	7,085	637	688	456	46.02
増減額	1,290	△233	△86	△77	
増減率	18.2%	△36.6%	△12.5%	△16.8%	

当社グループは、2022年度から2024年度を対象とする中期経営計画において、2030年までの長期ビジョンである「成長から進化へ」をグループ基本方針に据え、「環境問題への取り組み -Sustainability-」、「収益向上への取り組み -Profitability-」、「製品開発への取り組み -Green Innovation-」を通じ、2024年度には連結営業利益1,500億円以上の達成、また連結純利益1,000億円以上の安定的な継続を目指しています。

このような基本方針のもと、当社グループは気候変動問題への対応として温室効果ガス削減や森林によるCO<sub>2</sub>純吸収量の拡大を推進するなど、環境問題への対応に継続して取り組むと同時に、最適生産体制の構築等を通じた既存事業の深化・海外パッケージング事業や環境配慮型製品等の有望事業の伸長を図り、事業価値を高めていきます。さらに、紙づくり・森づくりで培った多様なコア技術をベースに、環境配慮型素材・製品をはじめとした木質由来の新製品・新素材等の開発・早期事業化を進め、「森林を健全に育て、その森林資源を活かした製品を創造し、社会に届けることで、希望あふれる地球の未来の実現に向け、時代を動かしていく」企業として、社会へ貢献してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大により停滞していた経済活動の再開による需要の回復やパルプ市況の上昇、また足元の原燃料価格高騰影響を受けた価格修正の実施により、前年同四半期を1,290億円(18.2%)上回る8,375億円となりました。なお、当社グループの海外売上高比率は前年同四半期を6.1ポイント上回る38.5%となりました。

営業利益は、上記の価格修正の取り組みに加え、販売量も増加しましたが、原燃料価格高騰影響が大きく、前年同四半期を233億円(△36.6%)下回る404億円となりました。経常利益は、外貨建債権債務の評価替えによる為替差益の発生がありましたが、前年同四半期を86億円(△12.5%)下回る602億円となりました。税金等調整前四半期純利益は、前年同四半期を103億円(△15.2%)下回る575億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期を77億円(△16.8%)下回る379億円となりました。

(当四半期連結累計期間のセグメント別の動向)

①セグメントの業績

(単位：億円)

		売上高			営業利益 (△は損失)		
		2022年 3月期 第2四半期	2023年 3月期 第2四半期	増減率	2022年 3月期 第2四半期	2023年 3月期 第2四半期	増減率
報告 セグメント	生活産業資材	3,426	3,898	13.8%	181	11	△94.1%
	機能材	914	1,076	17.7%	72	72	△0.6%
	資源環境ビジネス	1,443	2,040	41.4%	236	293	24.1%
	印刷情報メディア	1,176	1,342	14.1%	108	△2	—
	計	6,958	8,355	20.1%	597	373	△37.5%
その他		1,424	1,595	12.0%	43	43	0.0%
計		8,382	9,951	18.7%	640	416	△35.0%
調整額(注)		△1,297	△1,576		△3	△12	
合計		7,085	8,375	18.2%	637	404	△36.6%

(注) 調整額は主として内部取引に係るものです。

②セグメント別の概況

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、経済的特徴、製品の製造方法又は製造過程、製品を販売する市場又は顧客の種類等において類似性が認められるものについて集約を実施し、「生活産業資材」、「機能材」、「資源環境ビジネス」、「印刷情報メディア」の4つとしています。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、「その他」としています。なお、当第2四半期連結会計期間より、「生活産業資材」、「その他」に区分していた一部の事業について「資源環境ビジネス」に区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

各セグメントの主要な事業内容は以下のとおりです。

生活産業資材・・・ 段ボール原紙・段ボール加工事業、白板紙・紙器事業、包装用紙・製袋事業、家庭紙事業、紙おむつ事業

機能材・・・・・・・・ 特殊紙事業、感熱紙事業、粘着事業、フィルム事業

資源環境ビジネス・・・ パルプ事業、エネルギー事業、植林・木材加工事業

印刷情報メディア・・・ 新聞用紙事業、印刷・出版・情報用紙事業

その他・・・・・・・・ 不動産事業、エンジニアリング、商事、物流 他

〈生活産業資材〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比13.8%増収の3,898億円、営業利益は同94.1%減益の11億円となりました。

国内事業では、段ボール原紙・段ボール、白板紙等、多くの品種において全体的な需要回復がみられることに加え、価格修正の実施により、売上高は前年に対し増収となりました。また、紙おむつは前年に対し減収となりましたが、家庭紙は前年に引き続き堅調に推移しました。

海外事業では、段ボール原紙・段ボールは主に東南アジア・インドでの好調な販売、値上げの浸透に加え、マレーシアにおいて2021年10月から段ボール原紙の新マシンが稼働したことにより、売上高は前年に対し増収となりました。

〈機能材〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比17.7%増収の1,076億円、営業利益は同0.6%減益の72億円となりました。

国内事業では、特殊紙は前年に対し減収となりましたが、感熱紙は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い減少した需要が回復傾向にあったことに加え、価格修正の実施により、売上高は前年に対し増収となりました。

海外事業では、感熱紙は国内事業と同様、需要が回復傾向にあったことに加え、ブラジルにおいて設備増強・増設工事を実施し2022年1月から稼働したことにより、売上高は前年に対し増収となりました。

〈資源環境ビジネス〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比41.4%増収の2,040億円、営業利益は同24.1%増益の293億円となりました。

国内事業では、パルプ事業は市況の上昇を受け、売上高は前年に対し増収となりました。エネルギー事業は前年に引き続き堅調に推移しました。

海外事業では、パルプ事業は販売が好調に推移したことに加え、市況の上昇により、売上高は前年に対し増収となりました。

〈印刷情報メディア〉

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比14.1%増収の1,342億円、営業利益は同110億円減益の2億円の損失となりました。

国内事業では、新聞用紙は需要の減少傾向が継続しているものの、印刷用紙は輸入紙の減少により国内品への需要が高まっていることに加え、価格修正の実施により、売上高は前年に対し増収となりました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司において、売上高は前年に対し増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産等の増加に加え、円安の進行による為替換算差もあり、前連結会計年度末に対し2,237億円増加し、22,774億円となりました。負債は、有利子負債等の増加により、前連結会計年度末に対し1,208億円増加し、12,991億円となりました。純有利子負債残高（有利子負債－現金及び現金同等物等）は、前連結会計年度末に対し934億円増加し、6,881億円となりました。純資産は、為替換算調整勘定や利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に対し1,028億円増加し、9,783億円となりました。ネットD/Eレシオ（純有利子負債残高／純資産残高）は、経営目標である0.7倍を維持しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想につきましては、2022年8月2日の決算短信で公表した通期の連結業績予想を下記のとおり修正しています。

(2023年3月期連結業績予想の修正)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	1,050	1,100	700	70.66
今回予想修正(B)	18,000	1,050	1,100	700	70.66
増減額(B-A)	1,000	—	—	—	
増減率(%)	5.9%	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	14,702	1,201	1,351	875	88.35

## 2. 連結決算の概要

(連結経営成績)

(億円)

	第2四半期(累計)		通期(予想)	
		対前年同期増減		対前年度増減
売上高	8,375	1,290	18,000	3,298
国内	5,149	360		
海外	3,226	930		
(海外売上高比率)	38.5%	6.1%		
営業利益	404	△233	1,050	△151
経常利益	602	△86	1,100	△251
当期純利益 (親会社株主に帰属)	379	△77	700	△175

(億円)

減価償却費	352	43	723	64
設備投資額	439	△82	1,003	△62

(平均為替レート)

	第2四半期(累計)		通期(想定)	
		対前年同期差異		対前年度差異
円/USドル(4~3月)	134.0	24.2	142.0	29.6
ブラジルリアル/USドル(1~12月)	5.08	△0.3	5.24	△0.2
NZドル/USドル(1~12月)	1.51	0.1	1.60	0.2
元/USドル(1~12月)	6.48	0.1	6.89	0.4

(連結財政状態)

(億円)

	2022年9月末	
		対前年度末増減
総資産	22,774	2,237
純資産	9,783	1,028
有利子負債残高	7,466	961
純有利子負債残高 (有利子負債－現金及び現金同等物等)	6,881	934

(連結就業人員)

(人)

	2022年9月末	
		対前年度末増減
期末就業人員数	35,961	353
国内	16,253	△115
海外	19,708	468

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,749	51,093
受取手形、売掛金及び契約資産	324,442	380,545
有価証券	11,074	7,422
商品及び製品	98,616	114,746
仕掛品	20,294	24,450
原材料及び貯蔵品	106,266	132,708
その他	42,140	49,241
貸倒引当金	△1,790	△1,918
流動資産合計	645,795	758,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	196,448	210,271
機械装置及び運搬具（純額）	338,946	394,298
土地	240,765	242,301
その他（純額）	351,154	364,421
有形固定資産合計	1,127,315	1,211,292
無形固定資産		
のれん	3,472	18,900
その他	8,079	7,789
無形固定資産合計	11,552	26,689
投資その他の資産		
投資有価証券	168,545	176,729
その他	101,526	105,439
貸倒引当金	△982	△1,027
投資その他の資産合計	269,089	281,141
固定資産合計	1,407,956	1,519,123
資産合計	2,053,752	2,277,412

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	234,650	255,088
短期借入金	166,445	200,211
コマーシャル・ペーパー	—	74,000
未払法人税等	23,993	13,340
引当金	6,574	6,643
その他	101,355	102,154
流動負債合計	533,020	651,438
固定負債		
社債	155,000	155,000
長期借入金	329,062	317,381
引当金	4,623	6,423
退職給付に係る負債	54,022	54,814
その他	102,553	114,038
固定負債合計	645,261	647,658
負債合計	1,178,282	1,299,096
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	99,163	99,162
利益剰余金	567,150	598,022
自己株式	△13,277	△12,996
株主資本合計	756,918	788,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,500	35,031
繰延ヘッジ損益	2,076	△1,530
土地再評価差額金	5,728	5,728
為替換算調整勘定	29,593	100,108
退職給付に係る調整累計額	26,415	25,011
その他の包括利益累計額合計	94,314	164,348
新株予約権	157	144
非支配株主持分	24,080	25,752
純資産合計	875,470	978,315
負債純資産合計	2,053,752	2,277,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	708,529	837,502
売上原価	535,957	670,618
売上総利益	172,571	166,884
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	53,108	67,611
従業員給料	26,128	27,926
その他	29,654	30,951
販売費及び一般管理費合計	108,890	126,489
営業利益	63,681	40,395
営業外収益		
受取利息	388	595
受取配当金	1,591	1,827
為替差益	5,505	19,205
持分法による投資利益	1,450	816
その他	4,204	4,971
営業外収益合計	13,141	27,416
営業外費用		
支払利息	3,407	3,412
その他	4,580	4,167
営業外費用合計	7,987	7,580
経常利益	68,835	60,232
特別利益		
受取保険金	397	369
投資有価証券売却益	2	317
その他	1,328	87
特別利益合計	1,727	774
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	—	1,955
固定資産除却損	556	769
その他	2,181	798
特別損失合計	2,737	3,524
税金等調整前四半期純利益	67,824	57,482
法人税、住民税及び事業税	18,617	14,214
法人税等調整額	651	4,309
法人税等合計	19,268	18,524
四半期純利益	48,556	38,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,973	1,030
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,582	37,927

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	48,556	38,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,294	4,631
繰延ヘッジ損益	△1,690	△3,615
為替換算調整勘定	25,044	70,443
退職給付に係る調整額	△1,458	△1,315
持分法適用会社に対する持分相当額	1,188	869
その他の包括利益合計	24,377	71,013
四半期包括利益	72,934	109,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,033	107,913
非支配株主に係る四半期包括利益	8,900	2,057

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。